

福 井 県

～福井県競技力向上基本計画（案）～ に関する 県民パブリックコメント意見募集の結果

平成23年7月29日
福井県教育庁スポーツ保健課

今回、「福井県競技力向上基本計画（案）」について、県民の皆様から御意見を募集したところ、次のような御意見をいただきました。

御意見をお寄せいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

県では、いただいた御意見を「福井県競技力向上基本計画（案）」および今後の施策の参考とさせていただきます。

- 1 募集期間
平成23年6月22日（水）～7月5日（火）
- 2 意見件数（意見提出者数）
13件（7名）
- 3 提出された御意見の概要および県の考え方
別紙資料のとおり
- 4 問い合わせ先
福井県教育庁スポーツ保健課
TEL 0776-20-0594
FAX 0776-20-0672
E-mail: sports@pref.fukui.lg.jp

競技力向上基本計画(案)のパブリックコメント意見概要と県の考え方

	項目	パブリックコメント意見の概要	意見に対する県の考え方
競技力の目標	競技力の目標 (天皇杯獲得)	開催県として「天皇杯獲得」を目指すことを宣言してもらいたい。	平成22年に各界の意見を伺って策定した、福井国体ビジョンに基づいた目標としています。 スポーツにおいて、1位を目指す気持ちは当然であり、少しでも上位の成績を目指していきたいと考えています。
	競技力の目標 (恒久的な競技力の向上)	「国体後も継続する恒久的な競技力の向上」というところに大変共感した。	一過性ではなく、国体後も好成績を持続できる強化体制を整備していきます。
組織の確立	対策本部早期設置	「競技力向上対策本部」の一日も早い設置と、強い権限を持たせることを希望する。	基本計画策定後、早急に対策本部を設置し具体的な対策を実施していきます。 また、市町、教育関係、経済界、競技団体などの各界の意見を推進計画に反映させていきます。
選手の育成・強化	少年強化	小学生の強化策に対して、子供の取り合いにならないか心配している。 地域・地区単位での強化重点種目を作るなど検討してほしい。	競技団体が行う育成・強化事業と県が行う未普及競技に対する特別強化により、県内全域から発掘された選手を中長期で育成・強化を図ります。 特に、小学生期の強化として、会場市町と競技団体の連携による強化策が推進されると考えますが、地域・地区単位での強化は現在のところ計画していません。
	成年強化	スポーツチームの保有を企業に依頼をするなど、雇用も含め、絶大なサポートを働きかけてほしい。	社会人スポーツ推進協議会(仮称)を設置し、強化活動の場の確保、選手・指導者の受け皿づくりを推進するとともに、各種サポートも依頼していきたいと考えています。
	会場地や競技団体と連携した強化	会場地と連携した強化の具体的な方策を、会場地確定後すぐにでも進めてほしい。	強化校を指定しての強化や、開催競技の部活動設置、強化チームの練習場の確保など、開催地の選定状況を見ながら進めていきたいと考えています。
		施策の方向性(2)選手の育成・強化アクション1の④会場地市町における強化の中で「運動部活動設置要請等の働きかけ」の等の具体的な内容を明記してほしい。	「運動部活動設置やスポーツクラブでの強化の働きかけ」とします。

	項目	パブリックコメント意見の概要	意見に対する県の考え方
選手の育成・強化	会場地や競技団体と連携した強化	施設、指導者、一貫した選手育成システムが、会場地市町において、できるだけ早く実施できるよう要望する。	開催市町を中心に指導者が養成され、一貫した選手育成システムに基づいた強化策が早急に実施できるように、市町、競技団体等と協力して強化策を推進していきたいと考えています。
		大学・短大における優秀な指導者の招聘や、高等学校、競技団体との連携を強めた強化策の実施を要望する。	推薦入試制度を活用した選手確保策や、指導者の招聘・派遣などの強化策について高等学校、競技団体と連携を図りながら推進していきます。
指導者の養成・資質向上	指導者の採用	スポーツ特別選考で、選手としての採用も大切だが、指導者の枠などを設けて人材の確保が急務であると考ええる。	スポーツ特別選考制度の活用は、選手の確保でもありますが、将来にわたる指導者としての活躍も期待しています。短期的には内外の優秀指導者を活用していきたいと考えています。
	指導者の養成・資質向上および適正配置	教員・指導者の適正な配置、優秀な外部指導者の導入制度などの早期整備が必要と考える。	専門性を考慮した学校教職員の適正配置に努め、国体後も継続した強化に努めます。また、未普及競技指導者の確保に努めます。
競技力向上のための環境整備	施設関係と指導者の整備	施設関係と指導者は、早期の整備が急務であると考ええる。 指導者と施設整備は表裏一体だと思えます。	平成23年、24年を「強化基礎づくり」期とし、指導者対策をはじめ様々な強化対策を実施していきます。会場地の決定後は、「地の利を生かしての」強化対策に努めます。
	施設整備 環境整備	県内に環境の整った施設を整備することにより、県民がグレードの高い大会を「観る」ことができ、次の世代への意識付けになり、広く関心を持ってもらうことができると考える。	既存施設を有効活用し、国体の開催だけでなく将来の県民利用も考慮した施設整備を検討あるいは市町に依頼していきます。

意見回答者 7人

意見数 13件